

大勢ニ鑑ミテ政府ニ於テモ労働者ノ團結権ヲ認メテ治罪十七條ノ撤廢調停法ノ制定ヲ計リ今日ニ至ツタノデアル私ハ調停法制定ニ當リ社会局長官ノ説明ヲ聞ヒタガ労働者ノ資本家ニ對スル労働者ノ團結権ヲ認メテ居ル即チ産業ノ向上ヲ計ル所又デアルト説明サレテ居ル此ノ意味ニ於テ爭議發生ノ際ニハ感情ヲ去リ公平ナル取締ヲ為スコキが重要ノ本能デアルニ拘ラス今日ノ爭議ニ對シ長久署ノ態度ハ法ヲ嚴正執行スル官憲ノ立場ヲ志シテ否資本家ノ極端庇護ヲ為シ團結権ヲ蹂躪スルモノナルト断シ私ハ爭議發生ト共ニ數金百圓一ヶ月二十五圓ノ家賃ヲ借りテ家主ニモ爭議團本部ニスル事ノ諒解ヲ得テ居ル善意ハ不意ニ其ノ爭議團ニ深夜乱入シ團員全部ヲ拘束シタノ外又不法拘束ヲ敢テシ無届多量運動ト称シテ吾々ニ應接シタ組合員ノ送迎ヲ為シタルモノヲ拘束スル等實ニ压迫限リナキ状態ニナル吾々が報告会ノ為メ爭議團ニ演説会ヲ開カントシタガ諸種ナル口実ヲ以テ遂ニ演説会ヲ開催スルコトヲ得又迫ニ妨害シタノデアル凡テノ運動ヲ妨害シタ善意ハ会社ノ暴力團ヲ使用シ爭議團ノ裏切り等ニ對シ何等取締ヲ為サズノミナラス之ニ應接ヲ為スノ状態ニシテ限リナキ警察ノ横暴振デアルト述ベ只今回ノ爭議ヲ限ラス全無産労働者ノ為メニ吾々ハ市部ヲ通シテ糾弾ヲ吐バントスルモノデアルガ故ニ此ノ叫ビニ諸君ノ同情ト後援セラレン事ヲ切望スルニナリト降壇

以上

勞秘第七六九號

昭和四年四月十六日

警視總監 宮田光雄



4. 4. 20  
490

内務大臣 望月圭介 殿  
 社会局長 官 殿  
 埼玉縣知事 殿  
 東京地方裁判所 檢事 止 殿

大東工業株式會社勞資爭議ニ関スル件 (第五報)

要旨……労働者側ノ爭議勝敗ノ状死クテ有取シ其後會社並尾久署ノ非難攻撃ヲ目的トセル演説會ニ主カヲ注キワーアリ